

みんなで作る江東区 未来への創造予算

平成から新たな時代への幕開けを迎える次年度において、本区では、平成22年3月に策定した「江東区長期計画」が最終年度の節目を迎え、これまでの多岐に渡る課題解決への取り組みの総仕上げとともに、新たな時代の到来にふさわしい江東区の未来を描き出す、重要な時機を迎えます。

昨年10月に、日本の台所ともいえる豊洲市場が開場し、日本中から高い注目を浴びる中、江東区は、その良き伝統を継承・発展させ、より一層魅力的で、安全・安心なまちへと進化を遂げていかなければなりません。世界に誇れるまち、こどもたちが夢と希望を持てるまちとしていくために、災害に強いまちづくりや保育待機児童の解消、子育て・教育環境の整備、高齢者・障害者支援、観光振興、環境対策など、区政各般にわたる課題に対し、未来に向けて積極果敢な施策を展開してまいります。また、中央防波堤埋立地の帰属や地下鉄8号線の延伸など、区政における重要課題の解決と重点プロジェクトの推進についても全力を挙げて取り組んでまいります。

さらに、来年に迫った東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、本区独自ボランティアの運営等による「おもてなし」にかかる取り組みや、さらなる気運醸成に向けて競技体験・観戦イベントの実施など、大会の成功に向けて区内一丸となって進めてまいります。こうした過程の中で、「スポーツと人情が熱いまち 江東区」のブランドコンセプトが、まさに結実していくことを目指してまいります。

平成31年度予算は、「みんなで作る江東区 未来への創造予算」として編成し、一般会計の当初予算規模は、2,054億700万円、前年度比6.5%の増で、一般会計と3つの特別会計を合わせた総予算規模は、3,021億7,100万円、前年度比3.7%の増となりました。

時代の転換期にあたり、改めて江東区の歴史や伝統に想いを巡らせるとともに、来るべき未来のための積極的・戦略的な投資を行い、区民の皆さまと共に、未来の江東区の創造に邁進してまいります。



江東区長 山崎孝明